

## 目 次

・ 総括研究報告書	
小児領域の医薬品の適正使用推進のための人工知能を用いた医療情報データベースの利活用に関する研究	
栗山 猛 (国立成育医療研究センター臨床研究センター開発推進部ネットワーク推進室長)	
(資料)(調達仕様書)有害事象等検出 UI システム	-----1
・ 分担研究報告書	
1. 小児科学及び小児臨床薬理学の視点からの検討	
中村 秀文 (国立成育医療研究センター臨床研究センター開発企画主幹)	-----20
2. 医療情報データベースを用いた小児領域の医薬品の使用実態に関する研究	
森田 英明 (国立成育医療研究センター研究所免疫アレルギー・感染研究部室長)	-----22
3. 医療情報データベースを用いた医薬品(抗微生物薬)の適正使用及び安全対策の評価に関する研究	
森川 和彦 (東京都立小児総合医療センター臨床研究支援センター医員)	-----25
4. 小児で汎用されている医薬品の添付文書における小児特有の副作用等の記述に関する研究	
石川 洋一 (明治薬科大学薬学教育研究センター教授)	-----31
5. 小児医療情報収集システムと AI 連携との可能性に関する検討	
加藤 省吾 (国立成育医療研究センター臨床研究センターデータ管理部データ科学室長)	-----34
6. 薬剤添付文書における副作用の記載のされ方に関する調査研究	
荒牧 英治 (奈良先端科学技術大学院大学研究推進機構/情報科学研究科特任准教授)	-----39
7. 大規模データ利用した予測モデルの構築手法選択に関する研究	
井上 永介 (聖マリアンナ医科大学医学部医学教育文化部門(医学情報学)教授)	-----44
・ 研究成果の刊行に関する一覧表	
	-----46